

## 第6次高松市子ども読書活動推進計画(案)についてのパブリックコメント実施結果

本市教育委員会では、令和6年3月5日から3月25日までの期間、「第6次高松市子ども読書活動推進計画(案)」についてのパブリックコメントを実施しました。つきましては、いただきました御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、次のとおりまとめましたので公表いたします。

1 意見総数 2件 ( 2人)

2 御意見の要旨及び本市の考え

※提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化又は文言等の調整をしています。

No.	御意見等(要旨)	市の考え方
1	ブックスタート事業は、読書の入り口として意義があると思うので、その主旨を伝えて継続してほしい。	ブックスタート事業は、絵本を手渡すことで読書への動機付けを図るとともに、絵本を開く楽しい体験を通して、赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、豊かで温かい時間を持つ機会を作っていただくための活動であり、子どもが読書と出会うきっかけとなる重要な事業であると認識しております。 今後におきましては、研修会等を開催するなど、図書館職員やボランティアの育成にも努め、引き続き事業を実施してまいりたいと存じます。
2	読書に関するアンケートの中で、子どもがなぜ本を読まないのか、なぜ嫌いなのか、その理由が知りたい。	「子どもの読書活動に関するアンケート」の中で、中学生・高校生においては「他の遊びの方が面白い」「時間がない」といった意見が多く、子どもが本を読まなくなっている要因のひとつと考えられます。 また、新型コロナウイルスの発生により、学校図書館や公立図書館において、臨時休館や開館時間の短縮等を余儀なくされた状況が、子どもの読書離れにつながった可能性があるものと存じます。 今後、アンケート内容につきましては、子どもの読書環境等について、より詳細な内容が把握できるよう検討してまいりたいと存じます。